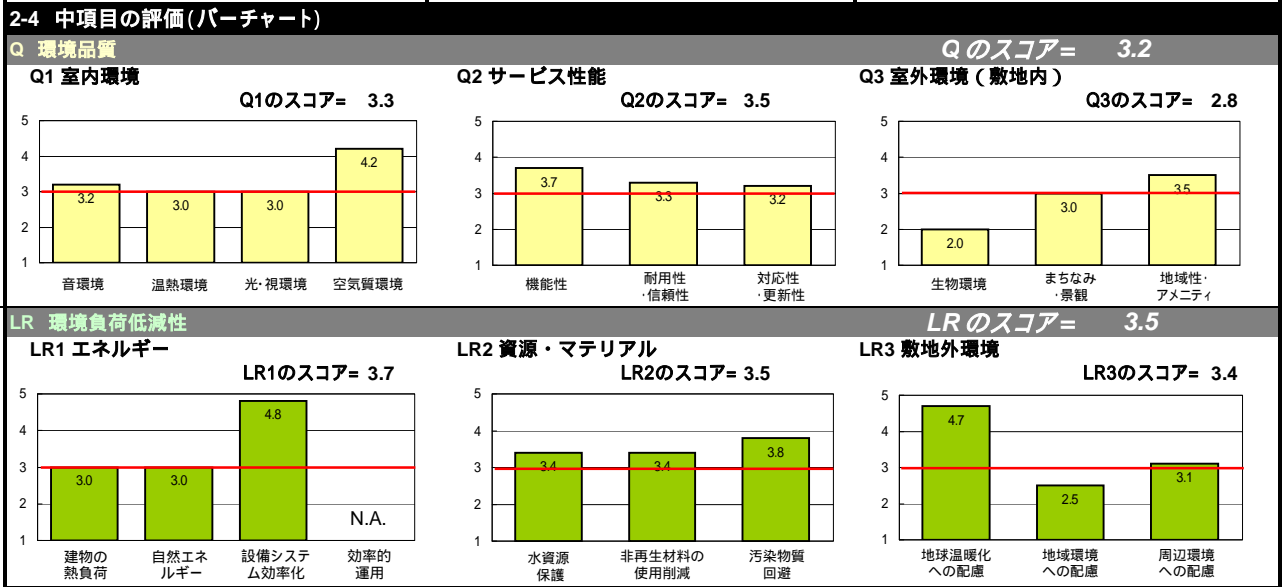
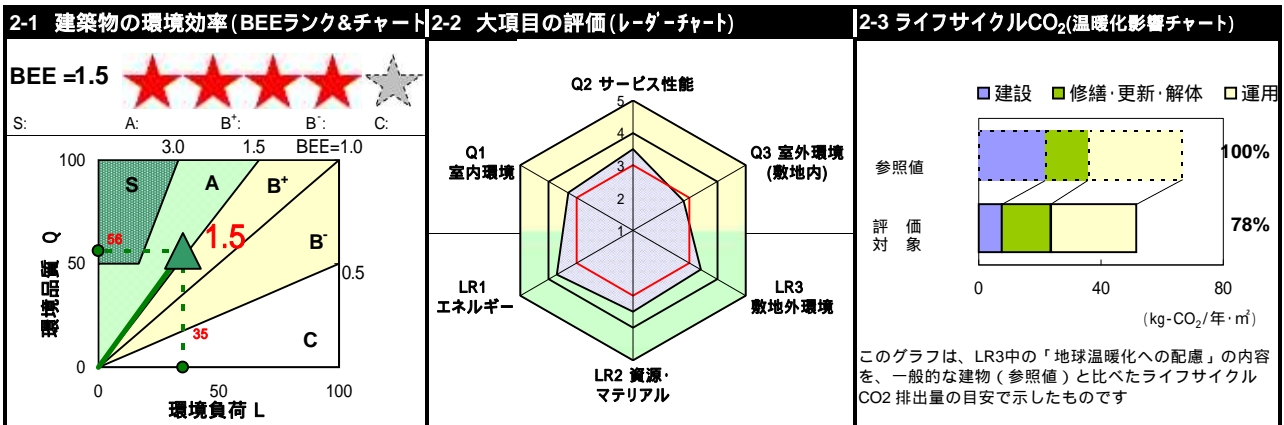


CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模大野2丁目計画	階数	地上15F
建設地	相模原市南区相模大野2丁目3312番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準住居地	平均居住人員	133 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年8月 予定	評価の実施日	2011年2月22日
敷地面積	1,661 m ²	作成者	(株)熊谷組一級建築士事務所
建築面積	376 m ²	確認日	2011年2月22日
延床面積	3,679 m ²	確認者	(株)熊谷組一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 ・本物件は、歩道状空地及び自主管理広場を整備し、まちに開かれた共同住宅づくりを目指します。 ・なまちなみへの配慮を行い、空地を確保し、光、風、緑の環境を最大限取り入れる計画とします。		その他 0
Q1 室内環境 ・住戸の遮音性能の確保(T-2等級)。 ・内装仕上げ材にF を全面的に使用。	Q2 サービス性能 ・高度情報通信設備対応(100Mbitクラス)。 ・居間の天井高さを2.57m確保。 ・エントランスの床に天然石を使用した空間演出。 ・エントランス、廊下の照度を確保。	Q3 室外環境(敷地内) ・南西側、北東側の空地を確保し、光及び風を取り入れる。 ・緑地を最大限確保し、熱溜まりを抑制する。
LR1 エネルギー ・【照明設備】適切な照度設定、省エネ型機器の採用による省エネルギー化を計る。 ・【給湯設備】潜熱回収型給湯器の採用。	LR2 資源・マテリアル ・節水コマ及び省水型機器の採用。 ・内装材: 躯体+軽鉄+仕上材 ・設備: 内装材と設備は錯綜せず、それぞれ容易に取り外しが可能。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 排出率が参照値に対して78%。 ・駐輪台数を88台とし、2台/戸以上を確保。 ・駐車台数を附置義務台数の約1.13倍の25台確保。 ・西側道路からの出入庫により渋滞の発生を回避。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい